

## 第6回 都心部・臨海地域地下鉄構想 事業計画検討会

### 議事概要

1. 日 時 令和5年10月24日（火）16時00分～17時00分
2. 場 所 都庁第二本庁舎10階209会議室
3. 議 事

#### <用語解説>

- ・「臨海地下鉄」：都心部・臨海地域地下鉄  
(東京駅（仮称）～有明・東京ビッグサイト駅（仮称）)
- ・「TX東京延伸」：常磐新線の延伸（秋葉原～東京（新東京）)
- ・「臨海部ルート」：羽田空港アクセス線の新設  
(東京テレポート～東京貨物ターミナル付近～羽田空港)

#### (1) 事業計画の検討について

○今後の検討にあたっては、

- ・ B/C、収支採算性を含む事業計画については、引き続き、乗換時間、工事単価など、ブラッシュアップすべき
- ・ 速度向上による更なる需要の増に向けて、特急や快速等の運行計画についても検討すべき
- ・ まちづくりとの連携については、新駅との連携だけでなく、例えば、新駅整備による周辺自動車交通減があればそれと連動して歩道空間を拡幅するなど大きなまちづくりの視点でも検討を行うべき

- ・ 築地地区まちづくり事業といった沿線開発としっかり連携を図るために、早急に事業主体を選定していくことが必要だが、選定理由等をしっかり整理しながら慎重に進めていくべき
- ・ 事業主体の公表については、公表の必要性や内容、タイミング等を慎重に検討・調整すべき
- ・ 更なる事業性向上に向けた事業スキームの構築について、幅広く検討を行うべき
- ・ スキームの検討に当たっては、運賃が低額で都民負担が少ない等、利用者の視点についても留意すべき
- ・ TX 東京延伸及び臨海部ルートとの接続の検討に当たっては、交通政策審議会の答申の内容も踏まえ、沿線自治体からの理解を得られるようにすべき

<答申の記載>

- ・ 交通政策審議会第 198 号答申  
「事業性の確保に向けて、臨海地下鉄とTX東京延伸を一体で整備し、（中略）検討が行われることを期待」
- ・ 交通政策審議会第 371 号答申  
「TX 東京延伸との接続も含め、（中略）検討の深度化を図るべき」

との指摘があった

○第 7 回以降については、検討状況を踏まえ、開催することとした

以上